

科目区分	専門教育科目	科目名	ゼミナール		科目コード	18L800	担当者	濱口 なぎさ、武藤 玲路、 江頭 万里子				
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	通年	単位数	4	担当形態	クラス分け				
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	必修				
							免許・資格要件					
科目の主題							学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
この科目では想定外の事態に遭遇したときに、そこに存在する問題を発見し、それを解決するための道筋を定める能力を身につける。							1. 「 <b>尽心</b> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <b>創造</b> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <b>実践</b> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標							① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・創造断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	自ら課題を発見し、根拠に基づいた論理的思考で課題を解決していく「課題探究力」を身につける。											
2.	グループでのコミュニケーションやチームワークを通して作業を進めていく「人間関係力」を身につける。											
3.	調査・研究の結果をまとめ、明快なプレゼンテーションができる「自己表現力」を身につける。											
4.							○	○	○	○	○	○
5.							成績評価の方法と割合					
授業方法							提出物（30%） 発表内容（30%） 受講態度（40%）					
学生による主体的・能動的な学修形態をとり、授業の時間は進捗状況の発表、作業の打ち合わせなどが中心で、それ以外の時間を調査・研究に充てる。												
準備学修							課題等への対応					
授業時での発表や打ち合わせのために必要な準備、調査、研究を行う。フィールドワークやインターンシップ1・2、病院実習、その他学外活動などに積極的に参加し、課題を発見する。毎回1時間程度の予習・復習が必要である。							年度最後のゼミナールの時間に、担当教員が報告書と発表会、活動状況等の評価についてコメントをする。					
授業計画												
第1回	ガイダンス、レジュメの作成法				第16回	調査・実践研究活動および報告						
第2回	テーマ、実施方法、分析方法の検討				第17回	調査・実践研究活動および報告						
第3回	テーマ、実施方法、分析方法の検討				第18回	調査・実践研究活動および報告						
第4回	テーマ、実施方法、分析方法の検討				第19回	調査・実践研究活動および報告						
第5回	テーマ、実施方法、分析方法の決定				第20回	調査・実践研究活動および報告						
第6回	調査・実践研究活動および報告				第21回	調査・実践研究活動および報告						
第7回	調査・実践研究活動および報告				第22回	報告書の作成						
第8回	調査・実践研究活動および報告				第23回	報告書の作成						
第9回	調査・実践研究活動および報告				第24回	報告書の作成						
第10回	調査・実践研究活動および報告				第25回	報告書の作成						
第11回	調査・実践研究活動および報告				第26回	プレゼンテーション資料の準備						
第12回	調査・実践研究活動および報告				第27回	プレゼンテーション資料の準備						
第13回	調査・実践研究活動および報告				第28回	プレゼンテーション資料の準備						
第14回	調査・実践研究活動および報告				第29回	プレゼンテーション						
第15回	調査・実践研究活動および報告				第30回	研究全体のまとめ、振り返り						
試験	定期試験を実施しない											
教科書	前年度のゼミナール報告集 その他、必要に応じてプリントを配布する。				受講生へのメッセージ	学内外での活動に積極的に参加し、その中から課題を見つけ、教員からの指導・協力・助言も得ながら解決の方法を導き出してください。						
参考書等	なし											